

輸送効率化<高速バス>

- 高速バス路線の定刻運行が可能となったことで、ドライバー・車両の運行が効率化。今後、ドライバーの働き方改革も期待される。
- 増加する観光客の利用を見込み、熊野市の観光地付近に停留所を新たに2カ所設置。

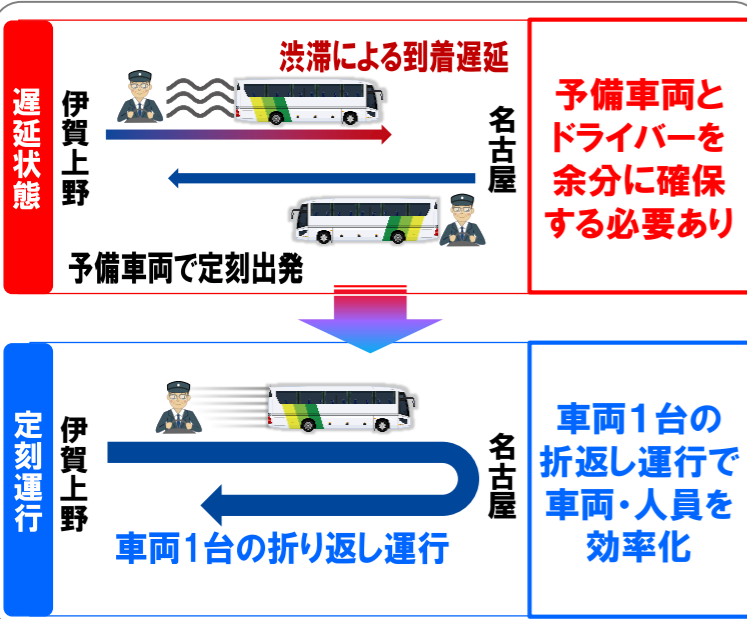
高速バス事業者の

声

- 遅延に備えて、予備車両とドライバーを余分に確保する必要がなくなり、効率的な運行ができています。
- 東名阪道の渋滞が解消され、名古屋と伊賀上野を結ぶ路線では、遅延が最大22分も短縮され、ほぼ定時運行になりました。
- かねてから多くの観光客が訪れる熊野市内の観光地付近に、お客さまの利便性向上のため、新たな停留所を2カ所設置しました。



予備車両&ドライバーの不要による効率化



熊野市内の観光地付近に停留所新設



6車線化によるネットワーク機能の強化<新名神高速道路>

- 物流効率化による生産性向上等を支援するため、高速道路ネットワークの安定性・効率性などの機能強化に向け、新名神高速道路(亀山西JCT~大津JCT(仮))では6車線化事業が推進されています。



全線開通が支える中京圏の更なる発展<東海環状自動車道>

- 東海環状道の沿線地域では、全線着工した2000年以降に製造業従業者数が約2.6万人、製造品出荷額等が約8兆円増加するなど、産業の発展等に寄与しています。
- 今後は、2024年度に北勢IC(仮)~大安IC及び、山県IC~大野神戸IC、2026年度には全線開通が予定されており、中京圏の更なる発展を支援することが期待されています。

